

事業番号	08 04 40	事業改善シート（26年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	水産試験場種苗開発費			担当課	部局	農政部	
					課・室	園芸畜産課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	S56 ~		

1 事業の概要

目指す姿	長野県の水産業を持続的に発展させるために、本県の特産魚である信州サーモンやシナノユキマスなどの優良な養殖用種苗のほか、冷水病等病気がないアユ種苗を安定的に供給する。											
現状	○平成16年に種苗供給を開始した信州サーモンは順調に生産量が拡大している(H24食用魚出荷量:300トン) ○信州サーモンの赤身と対比した白身の大型マス類(イワナ三倍体)の要望がある。											
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】										
	県民との協働による実施: 困難	バイテク種苗は散逸防止など厳格な施設での生産が必要で、民間に業務を移行できない。その他種苗についても技術的に県の施設での生産が必要である。										
事業内容	① 成果目標(H26)											
	水産資源の増大及び養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、民間で技術的に生産が困難な魚種(品種)の種苗供給を安定的に行うことにより水産業振興に資する。 ・卵、稚魚の出荷 140万粒、199.5万尾											
	② 事業内容 (単位:千円)											
		項目	実施方法	H26実施内容	H25 (当初)	H26 (要求) (予算案)						
		ニジマス種苗供給	直接	・ニジマスバイテク種苗の供給 全雌・三倍体卵130万粒、不用魚100kg	3,298	2,903						
		在来マス・信州サーモン種苗供給	直接	・信州サーモン種苗等の供給 信州サーモン稚魚30万尾 イワナ普通卵10万粒、イワナ三倍体稚魚1.5万尾	3,371	4,480						
		アユ種苗供給	直接	・アユ種苗の供給 稚魚110万尾、大型稚魚10万尾	9,229	10,334						
	シナノユキマス・フナ等種苗供給	直接	・シナノユキマス種苗の供給 ふ化仔魚100万尾、稚魚8万尾、不用魚400kg ・コイ科魚類種苗の供給 ウグイ稚魚50万尾、ウグイ大型稚魚100kg フナ親魚0.9トン	4,687	3,324							
	イワナ三倍体種苗の飼育管理事業	直接	イワナ親魚候補1,700尾飼育	2,486	0							
			合計	23,071	21,041	0						
事業コスト	区分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況				
	予算額	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26		H27 目標
		当初予算	22,190	20,491	23,071	21,041	目標			成果	達成状況	
		補正予算		2,068								
		合計(A)	22,190	22,559	23,071	21,041	0					
	Aの財源	国庫支出金						卵の出荷	113万粒	140万粒		
		県債						稚魚の出荷	288万尾	199.5万尾		
		その他(財産収入、繰入金)	22,190	22,559	23,071	20,764						
		一般財源	0	0	0	277	0					
	ト	決算額(B)	81,001	22,035								
概算人件費	職員数(人)	7.20	7.20	7.20	7.20							
	概算人件費(C)	59,458	59,458	59,458	59,458	0						
	概算事業費(B(A)+C)	140,459	81,493	82,529	80,499	0						
(注)23年度の決算額(B)は水産試験場費総額												
指摘事項等への対応		(指摘事項等)					(対応)					
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善												
要求からの主な変更点												